

令和2年8月4日

お客さま各位

RESAS（地域経済分析システム）を活用したオンライン研修を開催しました。

～学生による西尾市の課題把握と政策提案～

当金庫と中京大学経済学部は2018年12月より日本財団「わがまち基金」を活用した共同研究「新たな地域創生基盤基準の構築と西尾市経済への応用」を実施しており、この研究では、地域創生や地域経済の活性化に関心をもつ「人材の育成」をひとつの柱としています。

RESAS活用研修は、データから物事を考察できる人材の育成と西尾市の地方創生の振興を目的として、当金庫及び中京大学の共催にて実施しており、今回は、新型コロナウイルス対応のため、「オンラインリモート形式」で7月2日（木）、9日（木）、16日（木）の3日間にわたり開催しました。

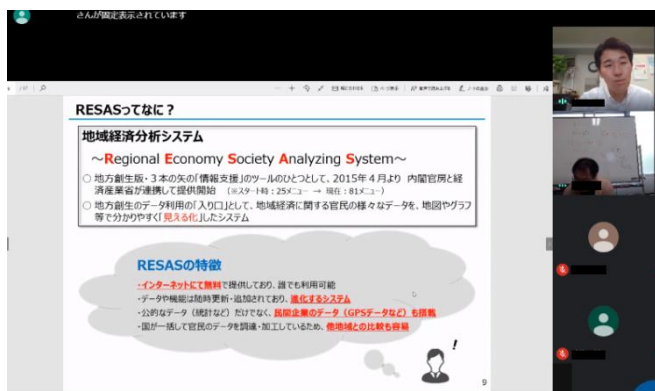
講師は当金庫のお客さま支援部地域支援課の江口賢太調査役が担当し、中京大学経済学部学生55名が参加しました。第1回はRESASの概要と基本操作の説明、第2回は12グループに分かれ、西尾市の課題抽出と発表資料作成のグループワーク、第3回は学生による成果発表に対し、西尾市、西尾商工会議所、西尾みなみ商工会、一色町商工会から講評を頂きました。

今後も、西尾市の地方創生に資するための取組を産学官金連携して取り組んで参ります。

※RESAS（リーサス）…地方創生のデータ利用の「入り口」として、地域経済に関する官民の様々なデータを、地図やグラフ等で分かりやすく「見える化」したシステム

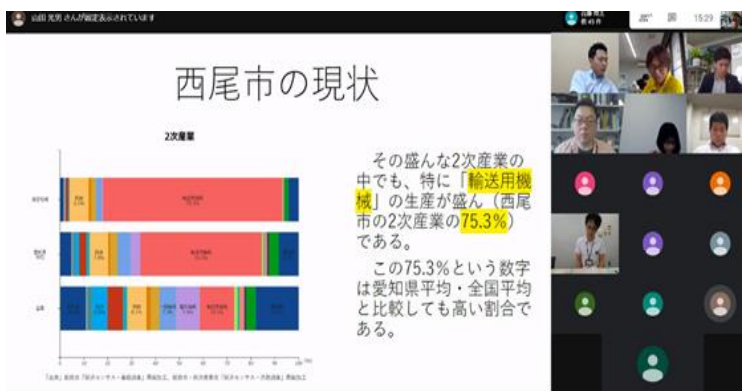
7月2日（木）RESAS活用研修の講義

RESASの概要と基本操作の説明講義



7月16日（木）グループワーク成果発表

学生による成果発表・講評



本件に関するお問い合わせ先

西尾信用金庫 お客さま支援部（担当：江口）

電話番号：0563-56-7126